

第48回 対馬縦断駅伝大会



午前8時に比田勝港をスタートするランナー

男子 陸上自衛隊 23連覇
女子 対馬高校 初優勝



5区から6区へのタスキ中継(女子)

12月14日、第48回対馬縦断駅伝大会(対馬市体育協会主催)が比田勝港から厳原までの91.4kmで行われ、島内のトップランナーが熱戦を繰り広げました。

男子の部(8区間・79.1km)には町体協の部に6チーム、団体の部に7チームが出場、女子の部(5区間・12.3km)には、各町体協と市内の3高校、計9チームが参加しました。

午前8時の時報を合図に1区のランナーが比田勝港を一齐にスタート。団体の部では、10区大塚信之介さん、13区日高久朋さんが区間新記録を更新、全区間で区間賞を記録し、安定したレー

ス運びを展開した陸上自衛隊Aチームが、大会23連覇を達成しました。

女子の部では、対馬高校が見事初優勝を飾り、全区間でも区間賞を取る力走を見せてくれました。町体協の部では、2位の豊玉町に37秒の僅差で競り勝った美津島町が優勝を勝ち取りました。

晴天に恵まれたこの大会には、多くの皆さんが沿道に詰めかけ熱い声援を送っていました。

大会結果 (敬称略)

《男子の部 団体の部》

- 陸上自衛隊A 4時間25分37秒
- 陸上自衛隊B 4時間44分23秒
- 上対馬高校 4時間44分58秒
- 対馬高校 4時間51分31秒
- 豊玉高校 4時間54分37秒
- 航空自衛隊 5時間6分29秒
- 市消防本部 5時間9分28秒

《男子の部 町体協の部》

- 美津島町 4時間52分17秒
- 豊玉町 4時間52分54秒
- 上対馬町 4時間59分6秒
- 厳原町 5時間5分25秒
- 峰町 5時間17分47秒
- 上県町 5時間35分35秒

《女子の部》

- 対馬高校 43分37秒
 - 美津島町 45分17秒
 - 豊玉町 45分47秒
 - 上対馬町 46分18秒
 - 上県町 46分31秒
 - 厳原町 47分55秒
 - 豊玉高校 49分27秒
 - 峰町 50分32秒
 - 上対馬高校 51分42秒
- 〔区間賞〕
- 1区(10.4km) 舟倉大亮 陸自A) 36分47秒
 - 2区(8.2km) 寺田長寿 陸自A) 27分35秒
 - 3区(11.4km) 塩浦孝員 陸自A) 37分55秒
 - 4区(12.0km) 前濱博次 陸自A) 39分30秒
 - 5区(2.5km) 治武真美 対高) 8分47秒
 - 6区(2.1km) 新本美有紀 対高) 7分10秒
 - 7区(2.7km) 中野ちひろ 対高) 10分7秒
 - 8区(2.5km) 阿比留優 対高) 9分8秒
 - 9区(2.5km) 岩崎未樹 対高) 8分25秒
 - 10区(6.0km)(新) 犬塚信之介 陸自A) 19分23秒
 - 11区(10.6km) 川上朋弘 陸自A) 36分9秒
 - 12区(8.7km) 阿比留善光 陸自A) 29分32秒
 - 13区(11.8km)(新) 日高久朋 陸自A) 38分46秒



団体の部 優勝 陸上自衛隊Aチーム



町体協の部 優勝 美津島町チーム



女子の部 優勝 対馬高校チーム

トップアスリートに感激



ソウル五輪に出場した元体操選手の信田美帆さんが12月5日、金田小学校で体操教室を開き、体を動かすことの楽しさと体操の魅力を教えてくれました。

「始めからうまく出来るわけではない。できなくてもくじけず努力を続け、何よりあきらめなければ夢は必ずかなう」と児童に語ってくれた信田さん。

宙返りなど模範演技を披露、間近に見た児童らからは、「スゴイ」などの驚きの声が上がっていました。

この日訪れた金田中学校の生徒も参加し、前回りや後ろ回り、逆立ちなどの実技を行い、一人一人が強い心と体を鍛えていました。

今年で23回を迎える「峰町ファミリーマラソン大会」が11月30日、東小学校（峰町佐賀）で開催され、総勢230名が参加しました。

大会は、親子の部のほか小学生低学年や高学年、中学生、一般の部で行われ、それぞれ1キロ、2キロ、3キロのコースで、健脚を競いました。

少し肌寒い青空の下、選手たちは沿道の声援を受けながらそれぞれの目標タイムを目指し、力いっぱい走っていました。また、地区の人たちが用意してくれた愛情いっぱいの「ぜんざい」も振る舞われ、競技を終えた参加者は、早速舌鼓を打ちながら体も心も温めていました。

心温まる峰町ファミリーマラソン大会



小型でも防火力は大型



11月15日、社団法人日本損害保険協会より対馬市消防団上対馬第14分団（琴地区）に最新鋭の小型動力ポンプが寄贈されました。

地理的条件が悪く消火活動が比較的困難な離島地域に、自主防災力の一層の充実、強化を図るため寄贈されたもので、全国で9台贈られたうちの1台です。

早速、操作訓練が行われ、団員からは、「以前の小型動力ポンプに比べ操作が簡便、しかも低騒音」と驚きと喜びの声が上がっていました。米田善博分団長は、「地区の安心・安全を守るため一層訓練に励み精進します」と力強く語ってくれました。

対馬高校の国際文化交流コースで、韓国語を学んでいる高田千晶さん（1年）、緒方美里さん（1年）が熊本で開催された第2回「話してみよう韓国語」熊本大会の高校生スキット部門で、最優秀賞を受賞しました。韓国語学習の活性化を図ろうと、実行委員会などが開催したもので、韓国語の台本を暗記し、身ぶり手ぶりを交え2人組で発表するスキット部門に7組が参加し、発音や表現力など競いました。

2人は体育の授業で、日本の高校生が韓国の高校生にダンスを指導する場面をアドリブを交えながら発表し、審査員から高い評価を受けました。「言葉が詰まった時があったが、動作を入れてうまく表現できました」と話してくれた2人は、3月に東京で開かれる全国大会に出場します。

韓国語スピーチ大会で最優秀賞



高田さん

緒方さん

今年も大盛況 物産市&フリーマーケット



特産品を買い求めるお客さんたち（物産市）

12月14日、上対馬町比田勝港埋立地において物産市（対馬観光物産協会主催）が開かれ、寒ぶりや牡蠣、椎茸、そばなど地元の「海の幸」「山の幸」が販売され、早朝から多くの人たちが詰めかけました。お目当ての特産品は、飛ぶように売れ釜山・対馬間の乗船券など豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会も行われ、会場は活気に満ちあふれていました。

また、同日、比田勝仲通り商店街では、フリーマーケット（商工会上対馬支部主催）も開催され、家庭内の不用品や趣味の作品が出品されました。「これはお得よ」とお客を呼び寄せ販売する人や「もうちょっと安くならんね」と掘り出し物を探す買い物客で賑わい、楽しい一日となりました。

高齢者を対象にした高齢者体験型講習会が12月22日、美津島グリーンピア内で開かれ、島内から29人が参加しました。

近年、増加する高齢者の交通事故防止を図るため交通安全協会などが主催したもので、参加者は時速30kmで走行する車の乗車人数などを瞬時に見極める動体視力テストやABSブレーキのかけ方を学びました。

雞知の小島五郎さんは、自ら運転を行いABS機能の重要性を体験するなど、一人一人が真剣に受講し交通安全に対する意識を改めて認識していました。

交通安全、体験で学ぼう



ABSブレーキの体験様子

受け継がれる島文化



「卯麦の盆踊り」を披露する豊玉小学校児童盆踊り保存会

12月12日、第18回対馬島郷土芸能発表大会が対馬市交流センターで開催され、島内各地に伝承されている盆踊りや太鼓、民謡などの民俗芸能が披露されました。

人情豊かな歴史と島独特の文化を保存し、継承する目的で対馬島郷土芸能保存会が毎年主催しているのもので、雞知郷土芸能保存会など9組が出演し、唄の語りかける意味、踊りの仕草など先人たちの風習を偲ばせていました。

各地の伝統芸能が一度に見られるとあって会場には多くの観客が集まり、この日のために練習を積み重ねてきた出演者達による熱演に、客席からは盛大な拍手が送られていました。

12月7日、対馬森林環境整備緑化隊（惣島由一隊長）が、上県町佐護湊地区住民と消防団員約80人の協力のもと美しい松林を残し次世代へつなげていこうと高さ約1mの黒松約600本の植樹を行いました。

佐護湊浜シーランド公園やあじさいロードなど海岸線に自生する松が、虫の被害により失われつつある現状を、地域で何か出来ないか検討されたものです。これは「ながさき県民参加の森林づくり事業助成」を受け実施されました。

600本の黒松を植樹



気合い満点
防犯少年武道大会



青少年の健全育成と非行の未然防止を目的とした平成20年度対馬市防犯少年武道大会が12月13日、シャインドームみねで開催され、小・中学生と高校生206名が参加、日々の鍛錬の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

個人戦・団体戦共に優勝した敵原少年剣道部の原田成さんは、「大きな自信を付けることができ、これからも色々な大会に向け、また頑張っちゃっていきたい」と喜びを話してくれました。

【大会結果】（敬称略）

剣道
団体 小学生 敵原少年剣道部 鶏鳴少年剣道部 平山道場 中学生 今里中学校剣道部 敵原中学校剣道部 佐須中学校剣道部
個人優勝 小学生男子 原田成（敵原少年剣道部） 同女子 豊田奈央（護道会）
中学生男子 増田康大（佐須中学校剣道部） 同女子 沖中則子（南陽中学校剣道部）
高校生男子 権藤祐太（対馬高校剣道部） 同女子 阿比留香寿美（対馬高校剣道部）



柔道

団体 小学生低学年 健心会 玄武会 小学生高学年 健心会A 玄武会 中学生 健心会A 健心会B
個人優勝 幼児 原田健太郎（玄武会） 小学生低学年 上村波輝（健心会） 同中学年 日高真琴（健心会） 同高学年 早田光（玄武会） 中学生 平間瑞基（健心会）

空手道大会で
好成績

12月14日、シーハット大村（大村市）で開催された新極真会第24回長崎県交流大会に新極真会对馬支部（指導員 三上雅生）道場生5名が出場し組手で全員が決勝に進出し優勝4人、準優勝1人という快挙を成し遂げました。

県内各支部から約150人が参加し、熱気に満ちた雰囲気の中、選手達は伸びのある技を次々と繰り出し日頃の稽古で培った力を十分に発揮することができました。

中でも三上海勇くんは、決勝戦で、九州大会3位の実力

者と対戦し、一步も引けをとらず見事勝利しました。支部のレベルが全国でも十分通用することが証明され、今後の活躍に期待が膨らみました。



【大会結果】

小学1年の部 優勝 豊田縁（佐須奈小） 準優勝 三上聡太（鶏鳴小） 小学3年の部 優勝 豊田真之（佐須奈小） 小学6年中学女子の部 優勝 豊田菜（活水中） 中学1年男子の部 優勝 三上海勇（雑知中）

かわいい踊りや
歌が満載

比田勝保育所のおゆうぎ会が12月7日、上対馬総合センターで行われました。

綺麗な和服やかわいらしい衣装に着飾った園児達が大きな声で元気よく歌ったり、表情豊かな踊りを披露してくれました。

訪れた観客らは、力いっぱいがんばっている園児の姿に温かい拍手を送り、ひとつひとつの仕草に目を細めていました。

